

登録コード	T5005300	開講年度	2026				
授業科目	保存再生論(16T以降)					担当教員	土本 俊和
英文授業名	Conservation of Historic Buildings					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生	
講義室	工C3-102教室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	建築学のなかで、保存と再生に関する基礎的な知識と技法を身につけることにより、建築の保存と再生を実際に行えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この科目では、われわれ現代人が価値ある建築とどのように係わるべきかを学びます。とくに、神社・寺院、町並み、民家、近代建築などをとりあげます。まず、価値ある建築の選び出し方、調査の仕方、評価の仕方をのべます。つぎに、その建築の保存の方法、修理の方法、再生の方法、活用の方法、そして伝統的な職人技術などを紹介します。日本においても、近年、建物の保存再生や街並みの保全が定着してきました。これらに関する仕事に興味のある方は是非ともこの授業を受けて、保全再生に関する考え方をつかってください。また、事例に触れることで見る目を養い、その目を将来の実務に役立ててください。						
(5)授業計画	4/13 1、保存の歴史と理念1:文化財建造物の保存(国宝・重要文化財) 4/20 2、保存の歴史と理念2:歴史的まちなみの保全(伝統的建造物群保存地区) 4/27 3、保存の歴史と理念3:民家の調査と民家の再生 5/11 4、保存の歴史と理念4:登録文化財制度と近代遺産 5/18 5、建物の見方・しらべ方1:寺院と神社の調査と記録、その保存と修理 5/25 6、建物の見方・しらべ方2:民家の調査と記録、その再生と活用 6/01 7、建物の見方・しらべ方3:歴史的まちなみの調査と記録、その再生と修景 6/08 8、再生利活用1：民家全般 6/15 9、再生利活用2：農家と屋敷 6/22 10、再生利活用3：町屋と屋敷 6/29 11、再生利活用4：町並み 7/06 12、保存技術1：木の架構技術 7/13 13、保存技術2：土壁技術 7/27 14、保存技術2：屋根葺き技術 「第2～第14週目の間でゲストスピーカー（東北大学准教授：興恵理香氏）による講義（世界の棟持柱）を1回予定」						
(6)成績評価の方法	この科目は、授業とレポートと定期試験の三点が単位認定のための要件です。受講者の個々の評価は、定期試験（100%）に基づいた判断によってなされます。なお、欠席した場合、欠席レポート(保存再生論に関する本の読書ノート1点)を次回までに提出してください。レポートもすべて提出してください。レポートが提出されていない場合、一件につき5点減点となります。						
(7)成績評価の基準	以下の4点が達成されていること。 ①保存すること、②修理すること、③再生すること、④活用する 達成の度合いは、レポートを通じて高めていきますが、定期試験で最終の達成度を測ります。 (1) 保存・修理・再生・活用に対する基本的な理解が示されており、(2) その理解の内容を伝える方法（文、図など）が示されており、(3) 保存再生に関する専門的な知識があり、(4) 保存・修理・再生・活用を魅力的に表現することができ、(5) 保存・修理・再生・活用に関する独創的なアイデアを持っているレベルにあれば「卓越している」。4項目までできていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」、2項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	事前の学習：参考書を中心に関連する図書を読むこと。 事後の学習：授業で提示された新しい概念を確認し、その概念に対応した手法を具体的に習得していくこと。 授業時間30時間（2時間×15回）に対して、自習学習時間60時間（4時間×15回）が求められます。						
(9)履修上の注意	受講に先立って修得しておくべき科目は、建築デザイン論です。 また、受講後、建築設計製図第4で、この授業の内容を具体的に展開していきますので、配布資料などを整理して、建築設計製図第4に備えておいてください。						
(10)質問,相談への対応	メールで質問、相談を受け付けます。 tsuch01@shinshu-u.ac.jp						
(11)その他							
【教科書】							

【参考書】	陣内秀信ほか『西洋建築史』彰国社、2005年 陣内秀信『イタリア都市再生の論理』鹿島出版会、1978年 稲垣榮三『文化遺産をどう受け継ぐか』三省堂、1984年 『建物の見方・しらべ方 江戸時代の寺院と神社』ぎょうせい、1994年 安藤邦廣・乾尚彦・山下浩一『住まいの伝統技術』彰国社、1995年 降幡廣信『民家再生の設計手法』彰国社、1997年
-------	---